

農業委員の任命に同意

農業委員会等に関する法律が平成28年4月1日から一部改正され、農業委員の任命について、市町村長が議会の同意を得て任命することになりました。
現委員の任期満了に伴い、新たな農業委員の任命に同意しました。任期は平成29年7月24日から3年となります。

委員は次のとおりです。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 菅原 英俊さん (鶯沢) | 大場 裕之さん (築館) | 佐藤 勝さん (金成) |
| 米山 嘉彦さん (瀬峰) | 曾根 金雄さん (築館) | 阿部 一信さん (金成) |
| 大黒 昭夫さん (瀬峰) | 三浦 正勝さん (一迫) | 多田 仁一さん (金成) |
| 狩野 和義さん (一迫) | 黒澤 光啓さん (一迫) | 佐々木 弘さん (志波姫) |
| 及川 正一さん (高清水) | 吉田 優俊さん (栗駒) | 尾形陽一郎さん (志波姫) |
| 佐々木 吉司さん (栗駒) | 岩淵 弘さん (栗駒) | 狩野 善典さん (花山) |
| 秋山 憲義さん (栗駒) | 鈴木 春江さん (若柳) | 千葉 優子さん (花山) |
| 岩淵 敬一さん (若柳) | 鈴木 康則さん (若柳) | |
| 岩淵 敬一さん (若柳) | 鈴木 康則さん (若柳) | |

人事

○監査委員の選任に同意
武田 孝一さん (若柳) 新任

人

○人権擁護委員の推薦に同意
鈴木 由紀子さん (築館) 再任
横山 洋子さん (築館) 再任
曾根 雄さん (築館) 再任
五十嵐 安子さん (栗駒) 再任

表彰

第93回全国市議会議長会の定期総会において、長年にわたり、市政の振興に努めた功績により表彰されました。



議員職20年以上
菅原 勇喜 議員



議員職15年以上
佐々木嘉郎 議員

財産の取得

600ℓ水槽付
消防ポンプ自動車1台取得

東分署(若柳)に配備されている消防ポンプ自動車は14年を経過したので、新しく購入します。(更新目安15年)
[金額] 4744万円
[財産取得の相手方] (株)古川ポンプ製作所 (大崎市)



消防ポンプ自動車のイメージ

6月定例議会での審議結果

6月定例議会で審議された議案は、すべて全会一致で可決しました。

意見書

国民健康保険税が 引き上げにならないよう求める

(宮城県国民健康保険運営方針に関する意見書)

6月定例議会では1件の意見書提出を求める発議案が提出され、全会一致で可決しました。
可決した意見書は次のとおりで、宮城県知事に対し、要請しました。

平成27年5月に公布された国民健康保険法等の一部を改正する法律により、国民健康保険事業は都道府県単位で運営することになった。宮城県は、制度移行後の安定的運営のため国が示したガイドラインに基づき、県と県内市町村が一体となって運営に取り組むための統一的な指針として国民健康保険運営方針を定めるとしている。

県が4月に示した「国民健康保険運営方針案」によると、「高齢者や低所得者の加入率が高い」という構造的問題を抱える」という認識が示されている。また「法定外一般会計繰入からの解消」も強調されており、これまで、各市町村が住民負担軽減に努めてきたことが継続できず、国民健康保険税(料)の引き上げにつな

がるのではないかと不安の声がある。

都道府県単位での国民健康保険事業は平成30年度からとなっているが、宮城県からの事業費納付金・標準保険税(料)試算が公表されていない。高齢者や低所得者の加入率が高いという認識を踏まえ、国民健康保険税(料)の引き上げにならないよう強く求める。

陳情

6月定例議会に4件の陳情書が提出されました。

瀬峰場外離着陸場の整備促進に関する要望書

NPO法人東日本パイロット協会

理事長 佐々木 逸馬さん

日本政府に核兵器禁止条約のため行動を求める意見書提出のお願い

2017年原水爆禁止国民平和大行進

宮城県実行委員会
代表委員 青木 正芳さん
ほか14人

宮城県国民健康保険運営方針案に係る意見書採択についての陳情

宮城県社会保険推進協議会
会長 刈田 啓史郎さん

就学援助の拡充と運用の見直しを求める陳情書

民主教育をすすめる宮城の会
代表 太田 直道さん

特別委員会の設置決まる

指定廃棄物等の 処分調査

平成26年2月に設置した「指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会」は、議員任期の満了により、平成29年4月30日に終了しました。

しかし、指定廃棄物最終処分場の問題、汚染稲わらの一時保管の問題及び放射性物質に汚染された農林系廃棄物などの処理に係る問題は、解決されないままとなつています。

議会として引き続き調査を行うため、議長を除く、

議員25人で構成する「指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会」を設置しました。

議会 運営 報告 調査 会

二元代表制の一翼を担う議会の役割などについて、市民の理解を高めることを目的に、議会報告会の企画立案並びに議会報告会後の政策立案および政策提言に向けた調査研究を行うため、議員7人で構成する「議会報告会運営調査特別委員会」を設置しました。

人口の流出抑制 移住定住を促進

総務常任委員会

6月定例議会では、市外の勤務地に通勤する場合に要する経費の一部を助成する「遠距離通勤支援事業」や多世代同居者を対象にした「若者定住促進助成事業」などの一般会計補正予算や、東京五輪の事前合宿の誘致活動などを行う外国青年を市の特別職として雇用し、報酬額を定める条例などを審査しました。

審査の結果、全議案を原案のとおり可決すべきものと決定しました。

通勤圏を想定
通勤50^キ以上

Q 移住定住の支援事業として、遠距離通勤を支援する予算120万円が計上されている。

A 片道50^キ以上とし、主に仙台区の若者40人を想定している。

この事業は、平成27年度に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」とともに、市の総合計画にも計画している。また、今年度の新卒者にも4月から適用したい。

なお、月額1万円が上限である。

新築・リフォームローンの一部助成

Q 移住定住の支援事業として、若者定住を促進する予算200万円が計上されている。この事業の対象者と内容は。

A アパートくらしななどをしている若者が実家などで親と同居する場合、新築またはリフォームした場合の住宅ローンへの助成であり、毎年の年度末残高に5%をかけ、その上限額20万円を助成する。

市道整備工事費に 4億1000万円を計上

産業建設常任委員会

6月定例議会において、本委員会には、市道整備にかかる工事費などを盛り込んだ一般会計補正予算、市営住宅の建替え事業に伴い新たに整備する駐車場を条例に追加する市営住宅条例の一部改正など、10議案が付託されました。

審査の結果、全議案を原案のとおり可決すべきものと決定しました。

**都市計画画
街路費について**

Q 今回の補正予算において、若柳地区の新山十文字線の工事請負費及び築館地区の駅前大通線の測量設計業務が計上されているが、両路線とも早期

の事業完了が待たれる。事業完了年度の見込みは。

A 都市計画道路新山十文字線は、平成31年度の完了を予定している。また、都市計画道路駅前大通線は、平成35年度完了年度としている。

事業完了が待たれる若柳地区の新山十文字線

栗駒テニスコート 砂入り人工芝に改修

文教民生常任委員会

6月定例議会において、本委員会には、栗原文化会館修繕工事費や栗駒テニスコート整備工事費が盛り込まれた一般会計補正予算など6議案が付託されました。

審査の結果、全議案を原案のとおり可決すべきものと決定しました。

**医療用ウィッグ
補正具に補助**

Q 医療用ウィッグ・補正具購入費補助金は、それぞれ何件分を見込んだ予算なのか。

A 医療用ウィッグは36件、乳房補正具は21件である。

**赤ちゃん用品券
毎月3000円分**

Q 赤ちゃん用品券支給事業は、平成29年4月以降に生まれた子どもが、満1歳になるまで毎月3000円分の用品券がもらえるのか。

A そのように計画している。平成29年4月に遡って支給する。

**児童クラブ
遊具撤去**

Q 補正予算に放課後児童クラブの遊具撤去工事費が計上されているが理由は何か。

A 栗駒、栗駒南、築館については、遊具の老朽化の他に、幼稚園の跡地を利用していることで、遊具自体が幼稚園児を対象としたもので、小学生にはそぐわないことや、支援員や補助員だけでは遊具の管理までできないことから、撤去するものである。

金成は旧金成小学校のグラウンドに、鉄棒、すべり台、ブランコ、登り棒があるが、老朽化により撤去することとした。



遠距離通勤に利用される高速バス

**中核機能の地域
現状分析を優先**

Q 市の中核機能地域として位置づけている東北新幹線の「くりこま高原駅」周辺から築館宮野地区までの開発の基本的な構想の策定業務の委託料793万円が計上されている。第三者委員会はいつ設置するのか。

A 今年度は、基礎調査や対象地域の特性分析、課題の整理などを予定している。第三者委員会は、年度内に設置したい。委託業務は2年計画を進める予定で、総額は約1900万円である。

**市営住宅条例の
一部改正について**

Q 今回の改正は、瀬峰地区の下山住宅集会所を条例から削除し、同時に下山住宅駐車場を追加するものであるが、追加される駐車場は、入居者専用のものであるのか。

A これまで下山住宅には入居者専用の駐車場がなかったため、今回の住宅建替え事業のなかで、入居者専用の駐車場整備を行うもの。

**栗駒山麓ジオパークビジ
ターセンター及びジオサイ
ト看板整備工事について**

Q ジオパークビジターセンター整備事業の内容を伺う。また、施設の活用に関する地域の方々の合意形成は図られているか。

A 栗駒山麓ジオパークは、栗駒山から伊豆沼・内沼までの市全域をエリアとして日本ジオパークの認定を受けている。標高1626mから海拔5mまでの標高差が栗原に様々な自然景観を創出し、四季折々の美しい自然景観

や平成20年岩手・宮城内陸地震の爪あとの映像などを見せながら、ビジターセンターを拠点に16のジオサイトに案内し、子ども達のジオパーク学習の場に活用できるように施設を整備する。

Q ジオサイト看板の設置場所を伺う。

A ジオサイトの説明看板として、鶯沢地区の細倉メインパークと花山区の浅布溪谷下流の2カ所の設置を考えている。

栗駒テニスコート改修

Q 栗駒テニスコートを砂入り人工芝に張り替えるとのことであるが、現在の使用頻度や、学校の大会などの利用状況はどうなっているか。

A 栗駒テニスコートの利用状況は、平成28年度の利用日数が46日、利用件数が49件、利用者延べ人数が392人である。大会は、開催されていない。

Q 改修するのであれば、それなりに使ってもらうことも必要である。盛んに大会でも使ってもらえればと思うがどうか。

A 旧鶯沢中学校の校庭にあったテニスコート2面と照明設備が、一昨年の大雨被害により使用できなくなったことから、今回、栗駒テニスコートを改修することとした。利用頻度についても、設備が整えば今以上に使ってもらえと考えている。



改修される栗駒テニスコート